

令和5年度 学校運営評価結果 概要

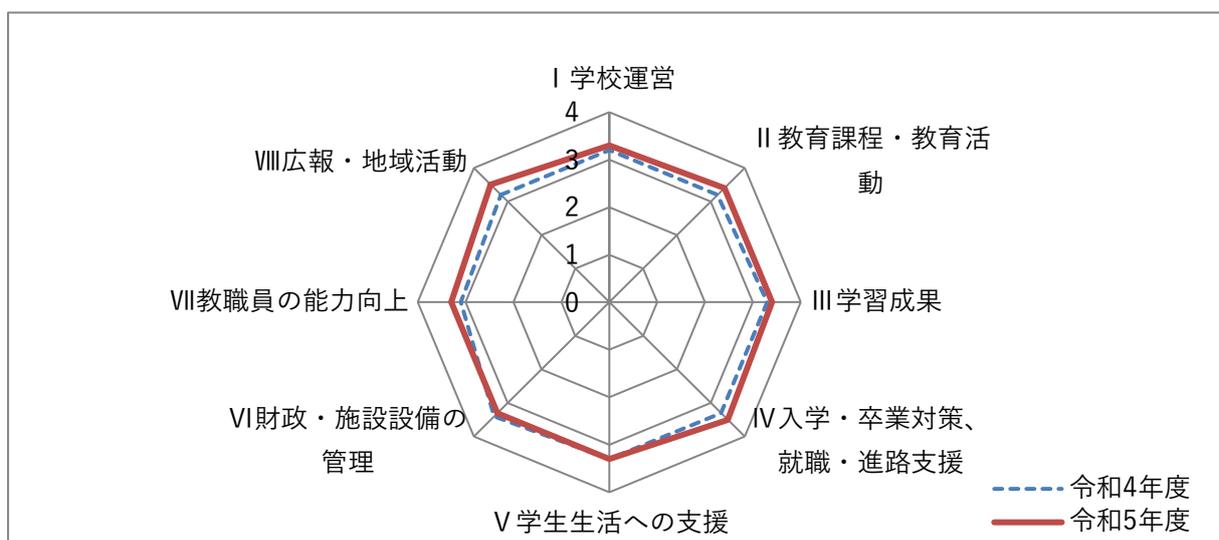
学校の自己改革と教育の質の向上を目指して、毎年学校運営評価を行い、学校運営の改善に努めております。

1 評価方法

- (1) 各評価項目について、今年度の取組を振り返りながら評価尺度（4：十分に満たしている、3：満たしている、2：改善の余地がある、1：改善が必要）に基づいて教職員の自己評価を行った。
- (2) 学生に直接関係する項目については、学生にアンケートで意見を聞いた。
- (3) 教職員の自己評価、学生のアンケート結果を学校関係者評価委員に報告し、意見を伺った。
- (4) 意見をもとに最終評定と次年度に向けた取組を明確にした。

2 評価結果

区分	主な評価項目	評価
I 学校運営	組織目標の策定、コンプライアンスを重視した学校運営、組織チーム力など	3.3
II 教育課程・教育活動	体系的なカリキュラム運営、評価の公平性・妥当性、実習時の安全体制など	3.4
III 学習成果	学生の単位取得支援、国家試験への取り組み、退学率の低減など	3.4
IV 入学・卒業対策、就職・進路支援	入学応募者確保、就職・進路支援、卒業生への支援	3.5
V 学生生活への支援	学業継続支援体制、学生の自主的活動支援、学生の意見を反映した学校運営	3.3
VI 財政・施設設備の管理	適正な予算の執行、危機管理体制、安心・安全な施設設備など	3.3
VII 教職員の能力向上	教員の看護教育力向上、能力向上に対する支援	3.3
VIII 広報・地域活動	積極的な広報活動、地域社会への貢献	3.5



3 学校関係者評価委員会での主な御意見

○学校運営について

- ・概ね良好な運営ができていると思われる。
- ・学生アンケートで声を聞く取組は大切だと思う。
- ・学生アンケート結果で一定の満足度が得られていること、内部委員平均評価も一定の成果が得られていることから、次年度の運営の参考としてさらなる改善に努める必要がある。

○入学・卒業対策、就職・進路支援について

- ・入学応募者確保、広報活動などについては、ニード調査、PR戦略の変革など喫緊の課題である。
- ・これまでの説明会等に加えて、戦略的に展開され、応募者が増えることを期待している。
- ・学生アンケートでは、就職・進路支援の取組について、学生がより実感できるような取組を検討してはどうか。
- ・実習病院としても連携をより強化したい。
- ・学校の運営に関する学生からの評価（アンケート）や広報委員会に次年度から学生も加わる等、学生の意見を積極的に取り入れるようとする姿勢がよいと思う。

4 次年度に向けた主な取組

○学校運営について

- ・次年度も学生からの意見を聞き学校運営評価の参考とする。
- ・現状の課題分析に基づいて組織目標を策定し、全教職員で共有し定期的に確認していく。

○教育課程・教育活動について

- ・新カリキュラム2年間の課題を踏まえ、3年目の円滑な運営を図る。

○学習成果について

- ・各学年担当が連携し、学習習慣を早期に定着させ、主体的に学習を継続できるよう取り組む。
- ・各科目の学習と合わせて国家試験の学習への効果的な支援に取り組む。

○入学・卒業対策、就職・進路支援

- ・入学応募者確保については、学生や関係者からの意見をもとに効果的な方法を再検討する。
- ・学生が就職・進路支援に求める内容を把握し、早期に就職活動ができるよう支援する。
- ・卒業後の状況を把握し教育活動に反映させるとともに卒業生への継続した支援の充実を図る。

○学生生活への支援について

- ・意見箱の対応を継続し、日常的に学生の意見に丁寧に対応する。

○財政、施設設備の管理について

- ・改訂後の危機管理マニュアルをもとに効果的な危機管理体制を整備し、実践する。

○教職員の能力向上

- ・教員の教育力向上に向けた自己研鑽の支援を継続する。

○広報・地域活動

- ・学校祭及び公開講座等を通して様々な方法で地域に発信していく。